

音楽グループ

【内 容】

1 授業作りの5つの視点ごとの評価

- ・ 1回目の授業から2回目の授業へ生かされたこと
- ・ R2年度からの「授業作りの5つの視点」更新

2 単元での授業配列・年計での単元配列の工夫に関して

- ・ 今後に向けての課題

1 授業作りの5つの視点ごとの評価

1 回目の授業から 2 回目の授業へ生かされたこと

小学部高ブロ（小6） 知！

1 回目授業 7 / 1 3



2 回目授業 9 / 2 8

♪ 単元名

「いろいろな音色を感じ取ろう」

「和音の移り変わりをを感じ取ろう」

♪ 楽曲名

音階体操・
シンコペイテッドクロック
ラバースコンチェルト・ビリーブ

音階体操・こげよマイケル・
虹のかなたに

♪ ねらい（本時）

- ・ 聞えてくる楽器の音色に気づき、楽器を鳴らす。
- ・ 4 拍子のリズムを聞き、身体表現や楽器演奏をする。
- ・ 新しい曲の楽しさを感じることができる。

- ・ 新しい曲を聴きながら、教師と一緒に和音を身体表現で表す。
- ・ 「こげよマイケル」に合わせて、教師と一緒に身体遊びを楽しむ。
- ・ 「虹のかなたに」に親しみ、簡単なゲームを楽しむ

授業づくりの5つの視点ごとの評価

1回目
「いろいろな音色を感じ取ろう」

次の単元へ生かされたこと

2回目
「和音の移り変わりを
感じ取ろう」

【物理的環境支援】 ⇒

・ 教室内の配置

◎学習内容に合わせて活動できる配置、
空間づくり
(船漕ぎ遊び・虹のかなたに)

◎児童生徒どうしの様子が見合える、
動きが感じられる座席配置
(学習の雰囲気づくり)

授業づくりの5つの視点ごとの評価

1回目
「いろいろな音色を感じ取ろう」

次の単元へ生かされたこと

2回目
「和音の移り変わりを
感じ取ろう」

【学習機会】 ⇒

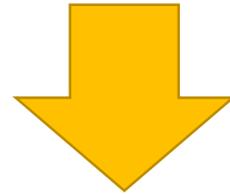
・音楽科の学習→歌唱・表現・器楽などの学習（能動的な活動）の内容をどのように工夫していけるか。

- ◎こげよマイケルの船漕ぎ遊びで、テンポが変わる体験をとおして、楽しさを感じる。
- ◎生歌（声の和音）、生演奏（リコーダー）の鑑賞は身近な人の歌声や演奏で親しみやすく耳に届きやすい。
- ◎ハレルヤの和音を身体表現する体験。いろいろな方法で音を表現。
- ◎あいさつ代わりに修礼を児童がハンドベルを使って行うことで和音を意識させる。

今後に向けての課題

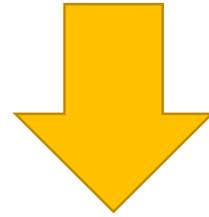
2 単元での授業配列・年計での単元配列の工夫に関して

★系統性をもって指導できるように、基本的に教科書の内容から年間計画を立てている。



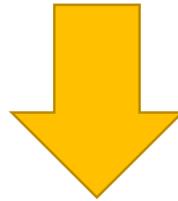
・年間計画のねらいをもと単元計画を作成するが、話し合いを深めることができなかった。

★小は各ブロックごとに年間計画を作成している。
同単元で学年が異なる授業展開となり、次年度
へ効果的につなげにくい。



- 実態に合わせた内容で計画できるように、学年ごとに年間計画を立てることも検討してもよいのではないか。

★単元内容は決まっていますが、グループの実態などで、楽曲を変更したり内容を追加したりすることがあり、次年度へのつながりが見えにくくなるのではないかと。



★単元の授業評価「次年度へ向けて」に記入することで、次の単元や次年度に生かしていくようにする。

- 学びの履歴がわかるように、単元計画の児童生徒の学習評価を活用していくための話し合いを深められなかった。